

8月6日(月)、日野町と姉妹都市提携を結んでいる韓国恩山面から、恩山中学生9名と校長先生、担任の先生の11名の使節団が3泊4日の日程で来町されました。

父子が結ぶ日韓の絆

日野町と恩山面を結びつけたのは鬼室父子の縁。恩山面には百済復興運動で戦死した鬼室福信將軍をまつる恩山別神堂があります。そして福信將軍の子、鬼室集斯をまつっているのが小野にある鬼室神社です。

祖先の絆を深めながら歴史文化を学ぶとともに相互の理解や友好



▲表敬訪問された使節団の皆さん

親善を深めようと、平成3年の姉妹都市提携以来、中学生使節団が交互に訪問し、交流しています。恩山面を訪れた日野中学生はこれまでで7回の訪問で108名。日野町を訪れた恩山中学生は6回の来日で91名となりました。使節団一行は、6日の午後4時過ぎに日野町に到着し、役場を表敬訪問、その後、町内のホテルで国際親善協会主催の歓迎会が開かれ、ホームステイ受入れ家庭などを交えて和やかなパーティーが行われました。



▲日野中学生が恩山中学生に琴の演奏方法を伝えました



▲部活動の様子も見学しました

韓国恩山面から中学生使節団が来町

温かな交流を育む

7日は、朝から日野中学校を訪問し、校舎見学や琴の演奏を体験し日本文化に触れました。また、音楽部のさわやかな歌声などで中学生交流を行いました。

午後からは、小野地区を訪問し、鬼室神社などの見学や小野会議所での区民交流会を行いました。また、夜には花火などで子ども同士の交流を行った後、3家庭のホームステイ先で心のこもったもてなしを受けられました。



▲小野地区の子どもたちとすぐに仲良くなりました



▲小野地区での区民交流の様子

ホームステイで訪れた家庭では、中学生が初めてふすまを見たり木のおはしを使ったりして、韓国との生活の違いを肌で感じていました。受け入れ家庭からは、「子どもに中学生がないので、中学生がいる間に交流ができれば良かった」との声もありました。8日は、この交流が長く続くことを祈りながら互いに別れを惜しみ、その後ブルーメの丘でステンドールの体験教室を楽しみ日野町を後にされました。



▲小野地区の子どもたちと一緒に鬼室神社前の広場にて。

◆問い合わせ先

企画広報課 秘書広報担当
☎6550 有線⑤7783